

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	094								
事務事業名	市民文化祭事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	05	事業	02
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課		担当係	文化係		係											
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で、「現状や課題」はどうか？→ ③そのためには何をすべきか？ という過程で考えていただいても結構です。									
現状課題	市民文化祭は毎年、10月から11月にかけて市民の文化活動の発表の場として、市内各所で様々な分野にわたり市民と庁内担当課が協力して行っている。平成30年度は23の個別事業を行っているが、近年、参加者の高齢化や減少により個々の事業によっては、活動の停滞や今後の運営に影響が出てくることも想定される。なお、平成31年4月に常総市文化芸術推進基本計画及び常総市文化芸術振興基金ができることから、その内容に即した事業運営の可能性についても検討を進めていく必要がある。				誰・何を対象に	市民及び文化団体				どのような方法・手順で	日頃の文化活動の成果を発表する機会として、市民団体と庁内担当課が協力して文化祭の各種事業を行う。				望ましい状態	活動の中心である市民の高齢化は避けて通れないが、その次の世代が積極的に参画し、既存の事業を維持してだけでなく、新たな分野の事業を立ち上げ、市民自らが中心となって文化祭を拡充していくことが望ましい状態と考える。			

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。									
指標名	文化祭個別事業の開催	単位	事業	目標値	23	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	市民の文化的活動は年々増加・拡大しており、その活動成果の発表の場として10月から11月にかけて文化祭を開催している。活動参加者の高齢化にともない、今後、停滞していく可能性があるため、平成30年度の事業規模を将来にわたり維持していくことを目標とした。									

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。									
年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度										
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量								
事務事業を構成する主な業務	① 団体への参加意向調査	1回		① 団体への参加意向調査	1回		① 団体への参加意向調査	1回		① 団体への参加意向調査	1回								
	② 参加団体代表者会議の開催	1回		② 参加団体代表者会議の開催	1回		② 参加団体代表者会議の開催	1回		② 参加団体代表者会議の開催	1回								
	③ 担当課と団体との協議及び物品調整	20事業		③ 担当課と団体との協議及び物品調整	21事業		③ 担当課と団体との協議及び物品調整	23事業		③ 担当課と団体との協議及び物品調整	23事業								
	④ ポスター及びチラシ作成	1回		④ ポスター及びチラシ作成	1回		④ ポスター及びチラシ作成	1回		④ ポスター及びチラシ作成	1回								
	⑤ 個別事業の準備・開催	20事業		⑤ 個別事業の準備・開催	21事業		⑤ 個別事業の準備・開催	23事業		⑤ 個別事業の準備・開催	23事業								
	⑥			⑥			⑥			⑥									
	⑦			⑦			⑦			⑦									
	⑧			⑧			⑧			⑧									
	⑨			⑨			⑨			⑨									
	⑩			⑩			⑩			⑩									
	⑪			⑪			⑪			⑪									
	⑫			⑫			⑫			⑫									
目標値に対する実績値		事業		目標値に対する実績値		事業		目標値に対する実績値		23		事業							
決算額	計	581,953 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	581,953 円	計	541,977 円	内訳	特定財源	0 円	一般財源	541,977 円					
		(住民一人あたりの行政コスト)		10 円	(住民一人あたりの行政コスト)		9 円	(住民一人あたりの行政コスト)		9 円									

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標どおり	目標値である23事業を実施できたことは、当事業において市民の文化への関心を期待させるものであり、今後も事業を継続していくための一定の目途が立ったと考えられる。																	
	内容																		
問題点	事業が増えることにより日程や会場のバッティングが増えたりしている。また、新規に担当課を割り当てるのが難しい状況のため、担当課の負担が増えて団体との協働に少なからず影響が見え始めている。																		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	年々、実施団体及び参加者の高齢化が進んでおり、事業が縮小している感があるが、文化芸術振興のため必要な事業であり、これを維持したいため、現行どおりとした。																		

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。									
年度	令和元年度				令和2年度				令和3年度										
事業内容	・団体への参加意向調査(6月頃) ・参加団体代表者会議の開催(7月頃) ・担当課と団体との協議及び物品調整 ・ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う ・個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する				・団体への参加意向調査(6月頃) ・参加団体代表者会議の開催(7月頃) ・担当課と団体との協議及び物品調整 ・ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う ・個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する				・団体への参加意向調査(6月頃) ・参加団体代表者会議の開催(7月頃) ・担当課と団体との協議及び物品調整 ・ポスター及びチラシ作成 チラシについては10月に全戸配布予定 ポスターは公共施設や参加団体による掲示を行う ・個別事業の準備・開催 開催期間は10月中旬から11月中旬 会場は、地域交流センター、生涯学習センター、水海道公民館など市内各所で実施する										
	成果指標	指標名	文化祭個別事業の開催	単位	事業	目標値	23	指標名	文化祭個別事業の開催	単位	事業	目標値	23	指標名	文化祭個別事業の開催	単位	事業	目標値	23

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。市民の文化活動の発表の場として実施されており、文化芸術振興のため必要な事業である。ただし、参加者の高齢化による後継者育成や事業の縮小などの課題もあることから、縮小も念頭に事業内容を精査、分析し、検討すべきである。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕																			
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	市民文化祭事業については、文化芸術振興のため、また発表の場として必要な事業であり継続すべきである。今後、新参加者が増えるような事業展開も必要である。																		

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合は拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	市民の活動や発表の場であることから、現行予算の範囲内で引き続き行っていく。文化祭参加者の高齢化により、個々の事業の運営が今後厳しくなることが予想されるが、引き続き庁内の各課かい所に協力を仰ぎながら事業を継続していく。																		